
【報告】令和4年度スポーツ推進審議会

以下のとおり審議会を開催しましたので報告します。

- 期 日 令和5年3月17日（金） 午後2時から午後3時
- 会 場 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ 会議室
- 出席者 審議会委員は別紙名簿のとおり
自治市民部長 鈴木 賢司
スポーツ振興課長 鈴木 雅樹
スポーツ振興課部付主幹兼課長補佐 伊藤 真徳
スポーツ振興課 主査（G長） 萩原 理帆
スポーツ振興課 主査 栗倉 寛子

※河島会長の挨拶後、本会の進行は河島会長が行った。

また、事務局からはスポーツ振興課長が以下説明

■ 議 事

(1) 磐田市スポーツ推進計画について

平成28年3月に今後10年間の計画として策定した。その後、5年経過した令和2年度に中間見直しを行った。配布済みの資料が見直しをまとめた“概要版”となる。

資料P3. 4 数値目標としてスポーツ実施率を2025年までの60%とすること。

資料P5. 6 計画の体系図について。実施率60%とするための5つの施策、11の基本施策で構成され、主な取組事項を掲載している。

(2) 令和4年度スポーツ推進事業の実績について 資料1参照

◆ P1～7 政策Ⅰ 子どものスポーツ機会の充実

例年実施している「親子ふれあい体育教室」、ジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズと連携した教室の開催、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦の実施。また、今年度、柔道家；井上康生さん、静岡ブルーレヴズCRO五郎丸歩さんによる「キッズスポーツデイ」の開催、一般社団法人日本トップリーグ連携機構が行う「ボールゲームフェスタ」を開催について説明。

◆ P8 政策Ⅱ ライフステージに応じ誰もがスポーツに親しむ機会の創設

市民相互の親睦と健康増進を図るため、「いわたスポレク健康フェスティバル」、「ジュビロ磐田メモリアルマラソン」の開催支援、ボッチャ体験会、モルック体験会、また、

【報告】令和4年度スポーツ推進審議会

日本ブラインドサッカー協会の協力のもと、ブラインドサッカー教室の開催について説明。

◆ P12 政策Ⅲ スポーツ環境の基盤となる「人」と「場」の充実

市内少年団等でスポーツ指導に携わる方を対象にした講演会を開催し、講師にバレーボール元日本代表 益子直美さんを迎えた。

スポーツ実施率の低い30代から50代の子育て、働き盛り世代への解決方法のひとつとして、身近な公園にスポットをあて日常にスポーツを取り入れ親しむきっかけづくりとなることを目指し、静岡産業大学の協力を得て、別冊「イワタ de 運動あそび」を製作した。

また、学校体育施設（体育館）のカギの貸し出し業務の簡素化、利用者の利便性を図るため“スマートキー”を導入する実証実験について説明を行った。将来的には窓口に行かない学校体育施設利用の実現を目指したい。

◆ P14 政策Ⅳ トップレベルのスポーツを体感する機会の充実

本市ゆかりの選手、チームの活躍を発信するため市内施設へ横断幕等の設置、チームマスコット等を活用したのぼり旗の作成、市ホームページやSNSを活用し情報発信に努めた。

また、プロバスケットボール三遠ネオフェニックスの協力により、小学生を対象にしたバスケ交流会を開催について説明。

◆ P15 政策Ⅴ 新たな時代に対応した施策等の実施

新型コロナウイルス感染症による行動、生活が制限される中で、コロナ禍におけるスポーツ活動を確保するため、体育施設利用のガイドラインの作成、周知、スポーツ推進委員によるインスタグラムでの親子運動の動画配信について説明。

(3) 令和5年度スポーツ推進事業計画について 資料2参照

新たに実施を予定している事業について説明。

◆ P4 発達支援学校または、発達支援学級に通う児童とその保護者を対象にした「発達支援親子のびのび教室」の開催を連続教室として実施する。

◆ P7 本市を活動拠点としている静岡ブルーレヴズの協力のもと、ふるさとに対する愛着やラグビー競技、チームへの興味関心を高めことを目的に「静岡ブルーレヴズ中学生一斉観戦」の実施。また、市民を対象にしたラグビー体験会や静岡SSUボニータの協力を仰ぎながら女子児童を対象としたスポーツイベントの開催。

さらに「スポーツのまち磐田」のブランディングを進める一環として、ジュビロ、

【報告】令和4年度スポーツ推進審議会

レヴズ、ポニータの3チームのマスコットとしっぺいを活用した、のぼり旗やタペストリーの作製。市民が一丸となってチームを応援する機運を醸成し、市内外にスポーツのまちをPRする。

今後も新型コロナウイルス感染症対策について、臨機応変に対応しながら積極的に各種イベントを開催していく予定。

■ 意見交換

所属・氏名	意見等
身体障がい者福祉会；高橋	名称の変更をお願いしたい。資料1 P11、資料2 P5 「 <u>磐田市身体障害者スポーツ大会</u> 」 ⇒ 「 <u>磐田市身体障害者スポレク交流会</u> 」
スポーツ推進委員；岡村	“スマートキー”の導入について教えてほしい。導入先と利用者の反応、今後について。
施設G；伊藤補佐	実証実験として導入先は、磐田第一中、東部小、向笠小の3校。令和5年秋から導入していく予定。支払も窓口に出向かなくても対応できるようにしていきたい。 今後2年かけて実証する予定。
ジュビロ；加藤	ジュビロ飯を活用していく
レヴズ；田井中	ラグビーシーズンが1月～5月となり、ホストゲーム8試合のうち、5試合をヤマハスタジアム、残りを県内のスタジアムで開催している。 事務所を今之浦に移し、今後、今之浦公園との接点を考えていきたい。
身体障がい者福祉会；高橋	福祉会の加入者も役員も高齢化している。交流会へも参加したい人もいるが、会場まで行けない人もいる。運営も難しくなっている。若い人のアプローチも難しい。
平野	以前の会の時に、“運動、スポーツ“の定義を見直そう・・・というような意見があったと記憶している。○○はスポーツだ！ 次回アンケートを取るときに活かされていくとよい。 また、運動能力チェックリストがあるとよいのでは？という意見もで

【報告】 令和4年度スポーツ推進審議会

	<p>たのではないかと記憶している。</p> <p>※30代から50代の運動をしていない人へのアプローチとして？</p> <p>チェックリストがあると自分がどうか、強化するところはどこか、わかるのではないか。</p>
田中	部活動の地域移行に向けた取り組みについて教えてほしい
スポーツ振興課長	土日を部活動から切り離していく予定だが、場所、指導者等々、クリアできない課題が多いが、移行期であるにとらえ、教育委員会を中心に実施に向けて動く予定。
静岡産業大学；中西	<p>コロナだからこそできることがあるのではないか。</p> <p>映像を使いオンデマンドだと参加者が増える。</p> <p>やる気ができるような方法を考えることもよいのではないか。</p> <p>地元のチームのOBや選手を活用しながら、磐田ならではの発信ができるといい。（トレーニング、ストレッチ等）</p>
レヴズ：田井中	中学生スポーツ体験会「iスポ」について知りたい
スポーツ振興課長	<p>普段実施することができない種目の体験が主である。</p> <p>ダンス、トランポリンなど。</p>
レヴズ：田井中	ラグビーに触れる機会を増やせるなら取り入れてほしい。
スポーツ振興課長	「iスポ」の実施種目、実施時間、会場等含め検討させていただきます。
河島会長	<p>皆さんとの意見交換ができた。</p> <p>引き続きよろしく申し上げます。</p>

以上 令和4年度磐田市スポーツ審議会 終了